

第8回 女性教員のための体育研修会 実施報告

1 ねらい

- ・女性教員を対象にすることで、誰もが参加しやすくするとともに、日頃の体育学習に関する悩みを気軽に話せる機会をつくる。
- ・女性教員が体育についての研修を深めることで、県下全体の体育学習のレベルアップを図る。

2 日時 平成26年7月28日(月) 10:00～16:00

3 主催 山口県小学校体育連盟・山口県小学校教育研究会体育研究部
“運動大好きやまぐちっ子”育成連絡協議会(代表団体:山口県教育委員会)

4 会場 ソルトアリーナ防府

5 参加者 山口県内女性教員 89名

6 講師 日本体育大学 教授 白旗 和也先生

7 内容 テーマ「ゲーム・ボール運動を中心に」

第1部 講義・実技指導(10:00～12:00)

最初に白旗先生から、学習指導要領の基本について講義をしていただきました。体育科の目標から、指導内容、体育学習の楽しさ、ボール運動系の分類(ベースボール型、ゴール型、ネット型)などについて分かりやすく教えていただきました。その後、ベースボール型について詳しく説明があり、ベースボール型の「ティーボール」の実技指導が行われました。初めに、準備運動として、リズム太鼓に合わせての移動、体を使ったジャンケンゲーム、真似っこダンス、大造じいさんとがん(タッチゲーム)を紹介していただきました。運動を行っていくうちに、自然に参加者同士でのふれあいがうまれ、楽しい雰囲気に包まれ、緊張がほぐれたようでした。ティーボールは、4コートに分かれて行われました。「ボールを取ったら、守るチームは輪の中にみんなが集まり、アウト！と声を出す」というように、ルールを工夫することで、誰もが楽しむことができることを教えてくださいました。初めて体験される方もおられましたが、みなさんが夢中になって楽しそうに活動されていたのが印象的でした。どのコートからも「アウト！」という元気なかけ声や歓声が上がっていました。また、二人組でキャッチボールを行い、ボールの投げ方のポイント(相手の胸をめがけて投げる、投げ終わって前に一步踏み出す、頭の後ろから投げる)を教えてくださいいただいたことも、よい研修となりました。



第2部 講義・実技指導（13：00～14：10）

ゴール型ゲームに関して、系統性やゲームの難しさ（瞬時に攻守が入れ替わる）について講義をしていただきました。その後、「サークルゲーム」を紹介していただき、3コートに分かれて実技を行いました。このゲームは、フープをゴールとし、ボールをパスし、ボールを持ってフープに入ったら得点となりました。フープを置く場所はチームで決めることができました。途中でフープの数を2つにすることで、動きに変化が現れました。ゴールの数や位置を工夫するなど、ルールや作戦を工夫することで、楽しさが膨らむことという貴重な体験ができたと思います。



フリートーク&ティータイム（14：10～14：40）

この時間を楽しみにして参加してくださる方がたくさんおられました。いろいろな種類のスイーツが並び、参加者の笑顔とトークが広がりました。白旗先生が、各テーブルをまわって、声をかけてくださり、体育学習に関する話題で盛り上がっていました。また、お互いの学校の体育授業に関する情報交換もされていて、とても有意義な時間となりました。

第3部 講義・実技指導（14：40～15：40）

ネット型ゲームに関して、系統性やゲームの工夫について講義をしていただきました。その後、「プレルボール」を紹介していただき、10コートに分かれて実技を行いました。キャッチスプレルやアタックプレルなど、ルールを工夫しながらゲームを楽しむ体験ができました。ゲームを進めていくうちにラリーが続くようになり、歓声や拍手が響いていました。また、初めて体験されてプレルボールに興味を持たれた方も多く、学校で実践してみたいという声があがっていました。



バレーボール以外のネット型ゲームの体験ができたことで、今後の体育学習に広がりができるのではないかと感じました。